

This Page Is Inserted by IFW Operations
and is not a part of the Official Record

BEST AVAILABLE IMAGES

Defective images within this document are accurate representations of the original documents submitted by the applicant.

Defects in the images may include (but are not limited to):

- BLACK BORDERS
- TEXT CUT OFF AT TOP, BOTTOM OR SIDES
- FADED TEXT
- ILLEGIBLE TEXT
- SKEWED/SLANTED IMAGES
- COLORED PHOTOS
- BLACK OR VERY BLACK AND WHITE DARK PHOTOS
- GRAY SCALE DOCUMENTS

IMAGES ARE BEST AVAILABLE COPY.

**As rescanning documents *will not* correct images,
please do not report the images to the
Image Problems Mailbox.**

日本国特許庁
PATENT OFFICE
JAPANESE GOVERNMENT

H. Yamamoto
Filed 7/31/01
Q65630
1 of 1



別紙添付の書類に記載されている事項は下記の出願書類に記載されている事項と同一であることを証明する。

This is to certify that the annexed is a true copy of the following application as filed with this Office.

出願年月日
Date of Application: 2000年 8月 1日

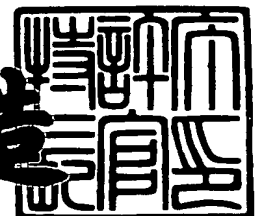
出願番号
Application Number: 特願2000-233557

出願人
Applicant(s): 日本電気株式会社

2001年 2月23日

特許庁長官
Commissioner,
Patent Office

及川耕造



出証番号 出証特2001-3011556

【書類名】 特許願

【整理番号】 85600002

【提出日】 平成12年 8月 1日

【あて先】 特許庁長官殿

【国際特許分類】 G06F 15/00

【発明者】

 【住所又は居所】 東京都港区芝5丁目7番1号
 日本電気株式会社内

 【氏名】 山本 東

【特許出願人】

 【識別番号】 000004237

 【氏名又は名称】 日本電気株式会社

【代理人】

 【識別番号】 100099830

 【弁理士】

 【氏名又は名称】 西村 征生

 【電話番号】 048-825-8201

【手数料の表示】

 【予納台帳番号】 038106

 【納付金額】 21,000円

【提出物件の目録】

 【物件名】 明細書 1

 【物件名】 図面 1

 【物件名】 要約書 1

 【包括委任状番号】 9407736

【プルーフの要否】 要

【書類名】 明細書

【発明の名称】 遺言サービス方法、遺言サービスシステム、及びその制御プログラムを記録した記録媒体

【特許請求の範囲】

【請求項 1】 遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、及び通信回線を備えた遺言サービスシステムにおいて、

前記遺言者端末が遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する遺言情報及び認証情報作成処理と、

前記遺言サービス端末が前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報登録処理と、

前記役所端末が死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する死亡者情報送出处理と、

前記遺言サービス端末が前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記認証情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記遺言者の相続人へ任意の手段で送出する遺言情報送出处理とを行うことを特徴とする遺言サービス方法。

【請求項 2】 遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、及び通信回線を備えた遺言サービスシステムにおいて、

前記遺言者端末が遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する遺言情報及び認証情報作成処理と、

前記遺言サービス端末が前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報登録処理と、

前記遺言者端末が前記遺言サービス端末に登録されている前記遺言情報の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報を前記認証情報と共に前記通信回線を

介して前記遺言サービス端末に送出する更新情報及び認証情報送出处理と、

前記遺言サービス端末が前記更新情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後、前記更新情報に基づき、前記遺言サービス端末に登録されている前記遺言情報を前記通信回線を介して前記遺言者端末へ送出すると共に前記遺言情報の内容を変更又は追加し、所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報更新処理と、

前記役所端末が死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する死亡者情報送出处理と、

前記遺言サービス端末が前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記認証情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記遺言者の相続人へ任意の手段で送出する遺言情報送出处理とを行うことを特徴とする遺言サービス方法。

【請求項 3】 遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、相続人端末、及び通信回線を備えた遺言サービスシステムにおいて、

前記遺言者端末が遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する遺言情報及び認証情報作成処理と、

前記遺言サービス端末が前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報登録処理と、

前記役所端末が死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する死亡者情報送出处理と、

前記遺言サービス端末が前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記遺言情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記通信回線を介して前記相続人端末に送出する遺言情報送出处理と、

前記相続人端末が前記遺言サービス端末から送出された前記遺言情報を前記通

信回線を介して受信する遺言情報受信処理とを行うことを特徴とする遺言サービス方法。

【請求項4】 遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、相続人端末、及び通信回線を備えた遺言サービスシステムにおいて、

前記遺言者端末が遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する遺言情報及び認証情報作成処理と、

前記遺言サービス端末が前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報登録処理と、

前記遺言者端末が前記遺言サービス端末に登録されている前記遺言情報の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報を前記認証情報と共に前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する更新情報及び認証情報送出处理と、

前記遺言サービス端末が前記更新情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後、前記更新情報に基づき、前記遺言サービス端末に登録されている前記遺言情報を前記通信回線を介して前記遺言者端末へ送出すると共に前記遺言情報の内容を変更又は追加し、所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報更新処理と、

前記役所端末が死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する死亡者情報送出处理と、

前記遺言サービス端末が前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記遺言情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記通信回線を介して前記相続人端末に送出する遺言情報送出处理と、

前記相続人端末が前記遺言サービス端末から送出された前記遺言情報を前記通信回線を介して受信する遺言情報受信処理とを行うことを特徴とする遺言サービス方法。

【請求項5】 前記通信回線は、

インターネットであることを特徴とする請求項1、2、3又は4記載の遺言サービス方法。

【請求項6】 遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、及び通信回線を備え、

前記遺言者端末は、

遺言者の操作に基づき、前記遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、

前記遺言サービス端末は、

遺言サービス担当者の操作に基づき、前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金し、かつ前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記認証情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記遺言者の相続人へ任意の手段で伝達する構成にし、

前記役所端末は、

死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にしたことを特徴とする遺言サービスシステム。

【請求項7】 遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、及び通信回線を備え、

前記遺言者端末は、

遺言者の操作に基づき、前記遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出し、かつ前記遺言情報の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報を前記認証情報と共に前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、

前記遺言サービス端末は、

遺言サービス担当者の操作に基づき、前記遺言情報及び認証情報を前記通信回

線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金し、かつ前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記認証情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記遺言者の相続人へ任意の手段で伝達し、かつ前記更新情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後、前記更新情報に基づき、登録されている前記遺言情報を前記通信回線を介して前記遺言者端末へ送出すると共に前記遺言情報の内容を変更又は追加し、所定の料金を前記遺言者に課金する構成にし、

前記役所端末は、

死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にしたことを特徴とする遺言サービスシステム。

【請求項 8】 遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、相続人端末、及び通信回線を備え、

前記遺言者端末は、

遺言者の操作に基づき、前記遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、

前記遺言サービス端末は、

遺言サービス担当者の操作に基づき、前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金し、かつ前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記遺言情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記通信回線を介して前記相続人端末に送出する構成にし、

前記役所端末は、

死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する

構成にし、

前記相続人端末は、

相続人の操作に基づき、前記遺言サービス端末から送出された前記遺言情報を前記通信回線を介して受信する構成にしたことを特徴とする遺言サービスシステム。

【請求項 9】 遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、相続人端末、及び通信回線を備え、

前記遺言者端末は、

遺言者の操作に基づき、前記遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出し、かつ前記遺言情報の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報を前記認証情報と共に前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、

前記遺言サービス端末は、

遺言サービス担当者の操作に基づき、前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金し、かつ前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記遺言情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記通信回線を介して前記相続人端末に送出し、かつ前記更新情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後、前記更新情報に基づき、登録されている前記遺言情報を前記通信回線を介して前記遺言者端末へ送出すると共に前記遺言情報の内容を変更又は追加し、所定の料金を前記遺言者に課金する構成にし、

前記役所端末は、

死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、

前記相続人端末は、

相続人の操作に基づき、前記遺言サービス端末から送出された前記遺言情報を前記通信回線を介して受信する構成にしたことを特徴とする遺言サービスシステム。

【請求項 1 0】 前記通信回線は、

インターネットであることを特徴とする請求項 6、7、8 又は 9 記載の遺言サービスシステム。

【請求項 1 1】 コンピュータに請求項 1、2、3、4 又は 5 記載の遺言サービス方法を実施させるための制御プログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【請求項 1 2】 コンピュータに請求項 6、7、8、9 又は 1 0 記載の遺言サービスシステムの機能を実現させるための制御プログラムを記録したことを特徴とする記録媒体。

【発明の詳細な説明】

【0 0 0 1】

【発明の属する技術分野】

この発明は、遺言サービス方法に係り、遺言者が生前に遺言を作成して例えばサービス機関などに登録しておき、同サービス機関が同遺言者の死後にその遺言を相続人に伝達する遺言サービス方法、遺言サービスシステム、及びその制御プログラムを記録した記録媒体に関する。

【0 0 0 2】

【従来の技術】

遺言制度は、人が生前に決めておいた最終の意志に効力を認めて、その実現をはかる制度である。遺言は、人が満 1 5 歳になれば自由に行うことができ（民法第 9 6 1 条）、遺言者の死後にその効力が発生する。遺言の方式には、大別して普通方式と特別方式とがあるが、同普通方式には、自筆証書遺言（民法第 9 6 8 条）、公正証書遺言（民法第 9 6 9 条）、及び秘密証書遺言（民法第 9 7 0 条）がある。また、特別方式には、緊急時遺言（民法第 9 7 6 条、第 9 7 9 条）、及び隔絶地遺言（民法第 9 7 7 条、第 9 7 8 条）がある。これらのうちの例えば公正証書遺言を作成する遺言サービス方法では、遺言者が公証人役場に出向くか又

は公証人の出張を求め、2人以上の証人の立会のもとに、公証人に遺言の趣旨を述べて筆記してもらい、公証人がそれを遺言者と証人に読み聞かせて承認を受け、遺言者と証人との署名及び押印が行われる。遺言は、公正証書として公証人役場に保管される。また、秘密証書遺言を作成する遺言サービス方法では、遺言者が自筆（又は、タイプライターやワードプロセッサなどによる作成でもよい）又は代理人が代筆した遺言書に同遺言者が署名及び押印し、かつ同一の印章で封印した後、2人以上の証人の立会のもとに、封書の中に遺言書があることが公証人によって公証される。

【0003】

【発明が解決しようとする課題】

しかしながら、上記従来の遺言サービス方法では、公証人によって遺言書が作成されるので、その作成や保管には費用がかかり、また、利用者も、例えば高齢者、あるいは老人ホームやホスピスなどで生活している人達など、死期が近いことを意識した一部の人達に偏っていたので、多くの人に利用されている状態ではなかった。さらに、通常では、死亡の確度の低い人が遺言書を作成することには抵抗感があった。特に、遺言者の近親者に対する遺言を扱う情報伝達手段は、ビジネスとしては確立していなかったので、多くの人は死後に残される人に対して確実に遺言を伝達することができないという問題があった。

【0004】

この発明は、上述の事情に鑑みてなされたもので、多くの遺言者が生前に遺言を作成して例えばサービス機関などに登録しておき、同サービス機関が同遺言者の死後にその遺言を相続人に確実に伝達する遺言サービス方法、遺言サービスシステム、及びその制御プログラムを記録した記録媒体を提供することを目的としている。

【0005】

【課題を解決するための手段】

上記課題を解決するために、請求項1記載の発明は、遺言サービス方法に係り、遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、及び通信回線を備えた遺言サービスシステムにおいて、前記遺言者端末が遺言者の死後の相続人に対する遺言を表

す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する遺言情報及び認証情報作成処理と、前記遺言サービス端末が前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報登録処理と、前記役所端末が死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する死亡者情報送出处理と、前記遺言サービス端末が前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記認証情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記遺言者の相続人へ任意の手段で送出する遺言情報送出处理とを行うことを特徴としている。

【 0 0 0 6 】

請求項 2 記載の発明は、遺言サービス方法に係り、遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、及び通信回線を備えた遺言サービスシステムにおいて、前記遺言者端末が遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する遺言情報及び認証情報作成処理と、前記遺言サービス端末が前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報登録処理と、前記遺言者端末が前記遺言サービス端末に登録されている前記遺言情報の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報を前記認証情報と共に前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する更新情報及び認証情報送出处理と、前記遺言サービス端末が前記更新情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後、前記更新情報に基づき、前記遺言サービス端末に登録されている前記遺言情報を前記通信回線を介して前記遺言者端末へ送出すると共に前記遺言情報の内容を変更又は追加し、所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報更新処理と、前記役所端末が死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する死亡者情報送出处理と

、前記遺言サービス端末が前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記認証情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記遺言者の相続人へ任意の手段で送出する遺言情報送出处理とを行うことを特徴としている。

【 0 0 0 7 】

請求項 3 記載の発明は、遺言サービス方法に係り、遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、相続人端末、及び通信回線を備えた遺言サービスシステムにおいて、前記遺言者端末が遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する遺言情報及び認証情報作成処理と、前記遺言サービス端末が前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報登録処理と、前記役所端末が死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する死亡者情報送出处理と、前記遺言サービス端末が前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記遺言情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記通信回線を介して前記相続人端末に送出する遺言情報送出处理と、前記相続人端末が前記遺言サービス端末から送出された前記遺言情報を前記通信回線を介して受信する遺言情報受信処理とを行うことを特徴としている。

【 0 0 0 8 】

請求項 4 記載の発明は、遺言サービス方法に係り、遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、相続人端末、及び通信回線を備えた遺言サービスシステムにおいて、前記遺言者端末が遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する遺言情報及び認証情報作成処理と、前記遺言サービス端末が前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報登録処理と、前記遺言者端末が前記遺言サ

ービス端末に登録されている前記遺言情報の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報を前記認証情報と共に前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する更新情報及び認証情報送出处理と、前記遺言サービス端末が前記更新情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後、前記更新情報に基づき、前記遺言サービス端末に登録されている前記遺言情報を前記通信回線を介して前記遺言者端末へ送出すると共に前記遺言情報の内容を変更又は追加し、所定の料金を前記遺言者に課金する遺言情報更新処理と、前記役所端末が死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する死亡者情報送出处理と、前記遺言サービス端末が前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記遺言情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記通信回線を介して前記相続人端末に送出する遺言情報送出处理と、前記相続人端末が前記遺言サービス端末から送出された前記遺言情報を前記通信回線を介して受信する遺言情報受信処理とを行うことを特徴としている。

【0009】

請求項5記載の発明は、請求項1、2、3又は4記載の遺言サービス方法に係り、前記通信回線は、インターネットであることを特徴としている。

【0010】

請求項6記載の発明は、遺言サービスシステムに係り、遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、及び通信回線を備え、前記遺言者端末は、遺言者の操作に基づき、前記遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、前記遺言サービス端末は、遺言サービス担当者の操作に基づき、前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金し、かつ前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記認証情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記遺言者の相続人へ任意の手段で伝達する構

成にし、前記役所端末は、死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にしたことを特徴としている。

【 0 0 1 1 】

請求項 7 記載の発明は、遺言サービスシステムに係り、遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、及び通信回線を備え、前記遺言者端末は、遺言者の操作に基づき、前記遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出し、かつ前記遺言情報の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報を前記認証情報と共に前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、前記遺言サービス端末は、遺言サービス担当者の操作に基づき、前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金し、かつ前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記認証情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記遺言者の相続人へ任意の手段で伝達し、かつ前記更新情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後、前記更新情報に基づき、登録されている前記遺言情報を前記通信回線を介して前記遺言者端末へ送出すると共に前記遺言情報の内容を変更又は追加し、所定の料金を前記遺言者に課金する構成にし、前記役所端末は、死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にしたことを特徴としている。

【 0 0 1 2 】

請求項 8 記載の発明は、遺言サービスシステムに係り、遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、相続人端末、及び通信回線を備え、前記遺言者端末は、遺言者の操作に基づき、前記遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、前記遺言サービス端末は、遺言サービス担

当者の操作に基づき、前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金し、かつ前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記遺言情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記通信回線を介して前記相続人端末に送出する構成にし、前記役所端末は、死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、前記相続人端末は、相続人の操作に基づき、前記遺言サービス端末から送出された前記遺言情報を前記通信回線を介して受信する構成にしたことを特徴としている。

【0013】

請求項9記載の発明は、遺言サービスシステムに係り、遺言者端末、遺言サービス端末、役所端末、相続人端末、及び通信回線を備え、前記遺言者端末は、遺言者の操作に基づき、前記遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報及び前記遺言者を認証するための認証情報を作成して前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出し、かつ前記遺言情報の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報を前記認証情報と共に前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に送出する構成にし、前記遺言サービス端末は、遺言サービス担当者の操作に基づき、前記遺言情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後に前記遺言情報を登録して保管する共に所定の料金を前記遺言者に課金し、かつ前記死亡者情報を前記通信回線を介して入力し、前記死亡者情報と前記遺言情報とを比較して前記死亡者情報が前記遺言者に対応するとき、前記遺言情報を前記通信回線を介して前記相続人端末に送出し、かつ前記更新情報及び認証情報を前記通信回線を介して入力し、前記認証情報に基づいて前記遺言者を認証した後、前記更新情報に基づき、登録されている前記遺言情報を前記通信回線を介して前記遺言者端末へ送出すると共に前記遺言情報の内容を変更又は追加し、所定の料金を前記遺言者に課金する構成にし、前記役所端末は、死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報として記録すると共に該死亡者情報を前記通信回線を介して前記遺言サービス端末に

送出する構成にし、前記相続人端末は、相続人の操作に基づき、前記遺言サービス端末から送出された前記遺言情報を前記通信回線を介して受信する構成にしたことを特徴としている。

【0014】

請求項10記載の発明は、請求項6、7、8又は9記載の遺言サービスシステムに係り、前記通信回線は、インターネットであることを特徴としている。

【0015】

請求項11記載の発明は、記録媒体に係り、コンピュータに請求項1、2、3、4又は5記載の遺言サービス方法を実施させるための制御プログラムを記録したことを特徴としている。

【0016】

請求項12記載の発明は、記録媒体に係り、コンピュータに請求項6、7、8、9又は10記載の遺言サービスシステムの機能を実現させるための制御プログラムを記録したことを特徴としている。

【0017】

【発明の実施の形態】

以下、図面を参照して、この発明の実施の形態について説明する。

図1は、この発明の実施形態である遺言サービス方法を実施するための遺言サービスシステムの一例を示す構成図である。

この形態の遺言サービスシステムは、同図に示すように、遺言者端末1、遺言サービス端末2、役所端末3、相続人端末4、及び通信回線（例えば、インターネット）NWを備えている。遺言者端末1は、例えば、遺言者の自宅等に設置されているパーソナルコンピュータ等の情報処理装置であり、同遺言者端末1全体を制御する中央処理装置（以下、「CPU」という）1a及びCPU1aを動作させるための制御プログラムが記録された記録媒体（例えば、リード・オンリ・メモリ、以下、「ROM」という）1bを有している。遺言者端末1は、遺言者の操作に基づき、同遺言者の死後の相続人に対する遺言を表す遺言情報I1a及び同遺言者を認証するための認証情報I1bを作成してインターネットNWを介して遺言サービス端末2に送出し、かつ遺言情報I1aの内容を閲覧、変更又は

追加するための更新情報 I 1 c を認証情報 I 1 b と共にインターネット NW を介して遺言サービス端末 2 に送出する。

【0018】

遺言サービス端末 2 は、例えば、遺言サービス機関等に設置されているパーソナルコンピュータ等の情報処理装置であり、同遺言サービス端末 2 全体を制御する CPU 2 a 及び CPU 2 a を動作させるための制御プログラムが記録された ROM 2 b を有している。遺言サービス端末 2 は、遺言サービス担当者の操作に基づき、遺言情報 I 1 a 及び認証情報 I 1 b をインターネット NW を介して入力し、認証情報 I 1 b に基づいて遺言者を認証した後に遺言情報 I 1 a を登録して保管する共に所定の料金を遺言者に課金する。また、遺言サービス端末 2 は、役所端末 3 から送出された死亡者情報 I 3 をインターネット NW を介して入力し、死亡者情報 I 3 と遺言情報 I 1 a とを比較して死亡者情報 I 3 が遺言者に対応するとき、遺言情報 I 1 a の内容を表す遺言情報 I 2 をインターネット NW を介して相続人端末 4 に送出する。また、遺言サービス端末 2 は、更新情報 I 1 c 及び認証情報 I 1 b をインターネット NW を介して入力し、認証情報 I 1 b に基づいて遺言者を認証した後、更新情報 I 1 c に基づき、遺言情報 I 1 a をインターネット NW を介して遺言者端末 1 へ送出すると共に遺言情報 I 1 a の内容を変更又は追加し、所定の料金を遺言者に課金する。

【0019】

役所端末 3 は、例えば、役所の死亡届受理部門等に設置されているパーソナルコンピュータ等の情報処理装置であり、同役所端末 3 全体を制御する CPU 3 a 及び CPU 3 a を動作させるための制御プログラムが記録された ROM 3 b を有している。役所端末 3 は、死亡届受理担当者の操作に基づき、死亡届を受理して死亡者情報 I 3 として記録すると共に同死亡者情報 I 3 をインターネット NW を介して遺言サービス端末 2 に送出する。相続人端末 4 は、相続人の操作に基づき、遺言情報 I 2 をインターネット NW を介して受信する。

【0020】

図 2 は、この形態の遺言サービス方法を説明するためのシーケンス図である。
この図を参照して、この形態の遺言サービス方法について説明する。

遺言者の操作に基づき、遺言者端末1で遺言情報 I 1 a 及び認証情報 I 1 b が作成され、インターネットNWを介して遺言サービス端末2に送出される（ステップ S 1、遺言情報及び認証情報作成処理）。遺言サービス担当者の操作に基づき、遺言サービス端末2で遺言情報 I 1 a 及び認証情報 I 1 b がインターネットNWを介して入力され、同認証情報 I 1 b に基づいて遺言者が認証された後、遺言情報 I 1 a が登録されて遺言者の死亡時まで保管されると共に所定の料金が遺言者に課金される（ステップ S 2、遺言情報登録処理）。この課金は、例えば、遺言者の預金口座から料金を引き落とすことによって行われる。遺言者の認証は、例えば、予めSSL（Secure Sockets Layer）のアルゴリズムに基づき、遺言者端末1と遺言サービス端末2との間で遺言者の認証を行うための電子証明書を交換することによって行われる。

【 0 0 2 1 】

遺言者の操作に基づき、遺言者端末1で遺言サービス端末2に登録されている遺言情報 I 1 a の内容を閲覧、変更又は追加するための更新情報 I 1 c が認証情報 I 1 b と共にインターネットNWを介して遺言サービス端末2に送出される（ステップ S 3、更新情報及び認証情報送出处理）。遺言サービス担当者の操作に基づき、遺言サービス端末2で更新情報 I 1 c 及び認証情報 I 1 b がインターネットNWを介して入力され、同認証情報 I 1 b に基づいて遺言者が認証された後、更新情報 I 1 c に基づき、登録されている遺言情報 I 1 a がインターネットNWを介して遺言者端末1へ送出される共に遺言情報 I 1 a の内容が変更又は追加され、所定の料金が遺言者に課金される（ステップ S 4、遺言情報更新処理）。この課金は、ステップ S 2 と同様に、例えば、遺言者の預金口座から料金を引き落とすことによって行われる。

【 0 0 2 2 】

一方、死亡届受理担当者の操作に基づき、役所端末3で死亡届が受理されて死亡者情報 I 3 として記録されると共に、同死亡者情報 I 3 がインターネットNWを介して遺言サービス端末2に送出される（ステップ S 5、死亡者情報送出处理）。遺言サービス担当者の操作に基づき、遺言サービス端末2で死亡者情報 I 3 がインターネットNWを介して入力され、同死亡者情報 I 3 と遺言情報 I 1 a と

が比較されて同死亡者情報 I 3 が遺言者に対応するとき、同遺言者の死亡が確認され、遺言情報 I 1 a の内容を表す遺言情報 I 2 がインターネットNWを介して相続人端末4に送出される（ステップS 6、遺言情報送出处理）。このとき、遺言情報 I 2 の送出には、例えば、電子メールが用いられる。相続人の操作に基づき、相続人端末4で遺言サービス端末2から送出された遺言情報 I 2 がインターネットNWを介して受信される（ステップS 7、遺言情報受信処理）。

【0023】

以上のように、この実施形態では、遺言者が遺言者端末1で遺言情報 I 1 a を作成し、同遺言情報 I 1 a がインターネットNWを介して遺言サービス端末2に登録されるので、同遺言者は抵抗感なく遺言を作成することができ、更新も容易である。さらに、遺言者が死亡した後、遺言情報 I 2 が遺言サービス端末2からインターネットNWを介して相続人端末4に送出されるので、遺言が相続人に発見されずに埋もれることがなく、確実に伝達される。そのため、この遺言サービス方法は、高齢化社会の到来や、いわれなき被害者となり得る犯罪が増加する社会傾向の中で、高齢者などの死期を意識した人のみでなく、若年者や壮年者の不慮の死に対する備えとしても利用でき、死を意識することによって積極的に生きるサービス利用者の裾野の広がりが期待できる。

【0024】

以上、この発明の実施形態を図面により詳述してきたが、具体的な構成はこの実施形態に限られるものではなく、この発明の要旨を逸脱しない範囲の設計の変更等があってもこの発明に含まれる。例えば、ステップS 1（遺言情報及び認証情報作成処理）では、遺言情報 I 1 a に加え、相続人にプレゼントを送る旨を登録しても良い。また、ステップS 2（遺言情報登録処理）における遺言者の認証は、遺言者を認証できる方法であれば、任意の方法を用いて良い。また、ステップS 6（遺言情報送出处理）では、遺言サービス端末2から送出される遺言情報 I 2 は、インターネットNWを介さずに、例えば、郵送、電報、宅配などで送出しても良い。また、遺言サービス端末2が役所などの行政機関やその出張所などに設けられている場合、役所端末3と遺言サービス端末2とをイントラネットを介して接続し、死亡者情報 I 3 を役所端末3から同イントラネットを介して遺言

サービス端末 2 へ送出しても良い。

【0025】

【発明の効果】

以上説明したように、この発明の構成によれば、遺言者が遺言者端末で遺言情報を作成し、同遺言情報が通信回線を介して遺言サービス端末に登録されるので、同遺言者は抵抗感なく遺言を作成することができ、更新も容易である。さらに、遺言者が死亡した後、登録されている遺言情報が遺言サービス端末から通信回線を介して相続人端末に送出されるので、遺言が相続人に発見されずに埋もれることがなく、確実に届けられる。そのため、この遺言サービス方法は、高齢化社会の到来や、いわれなき被害者となり得る犯罪が増加する社会傾向の中で、高齢者などの死期を意識した人のみでなく、若年者や壮年者の不慮の死に対する備えとしても利用でき、死を意識することによって積極的に生きるサービス利用者の裾野の広がりが期待できる。

【図面の簡単な説明】

【図 1】

この発明の実施形態である遺言サービス方法を実施するための遺言サービスシステムの構成図である。

【図 2】

実施形態の遺言サービス方法を説明するためのシーケンス図である。

【符号の説明】

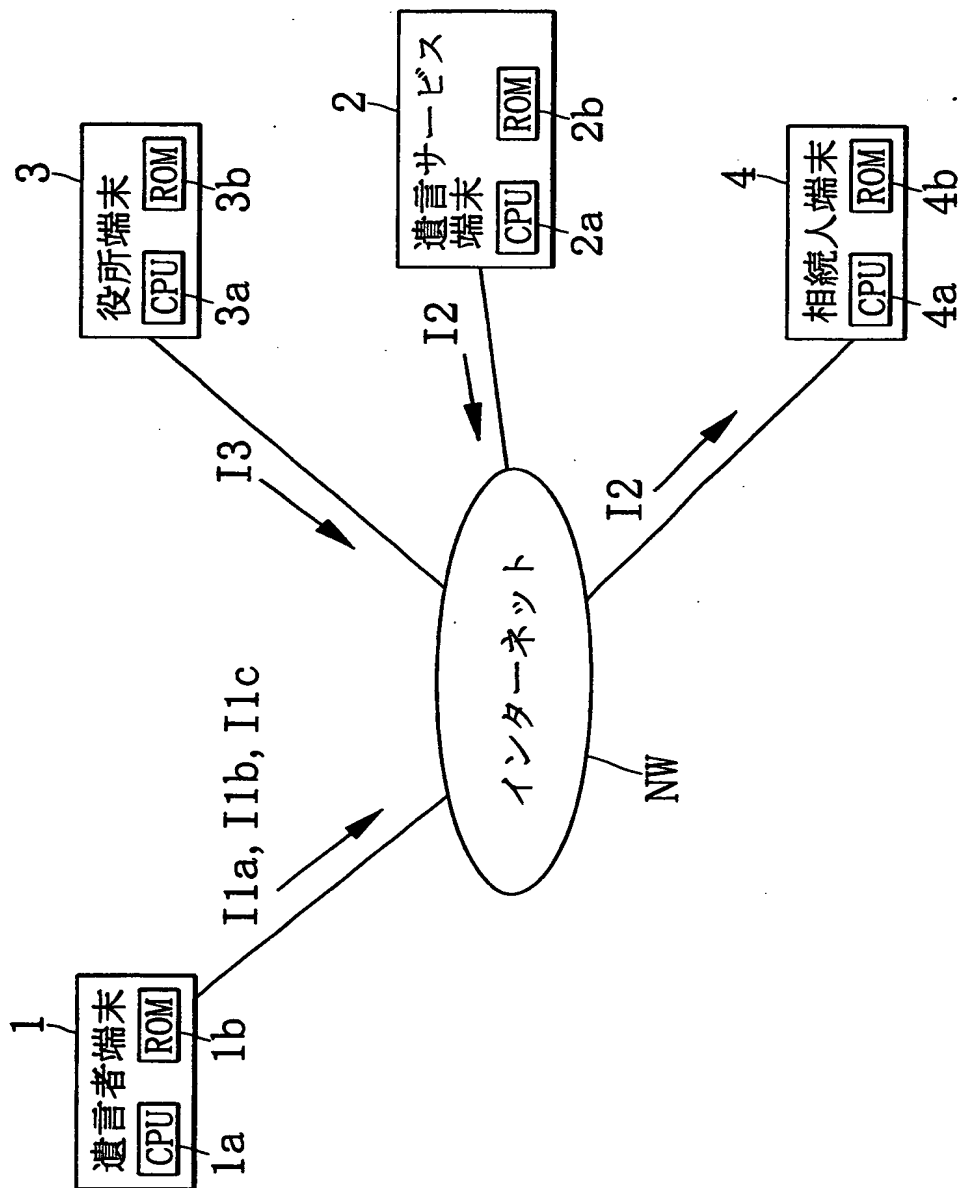
1	遺言者端末
2	遺言サービス端末
3	役所端末
4	相続人端末
NW	通信回線
S 1	遺言情報及び認証情報作成処理
S 2	遺言情報登録処理
S 3	更新情報及び認証情報送出处理
S 4	遺言情報更新処理

特 2 0 0 0 - 2 3 3 5 5 7

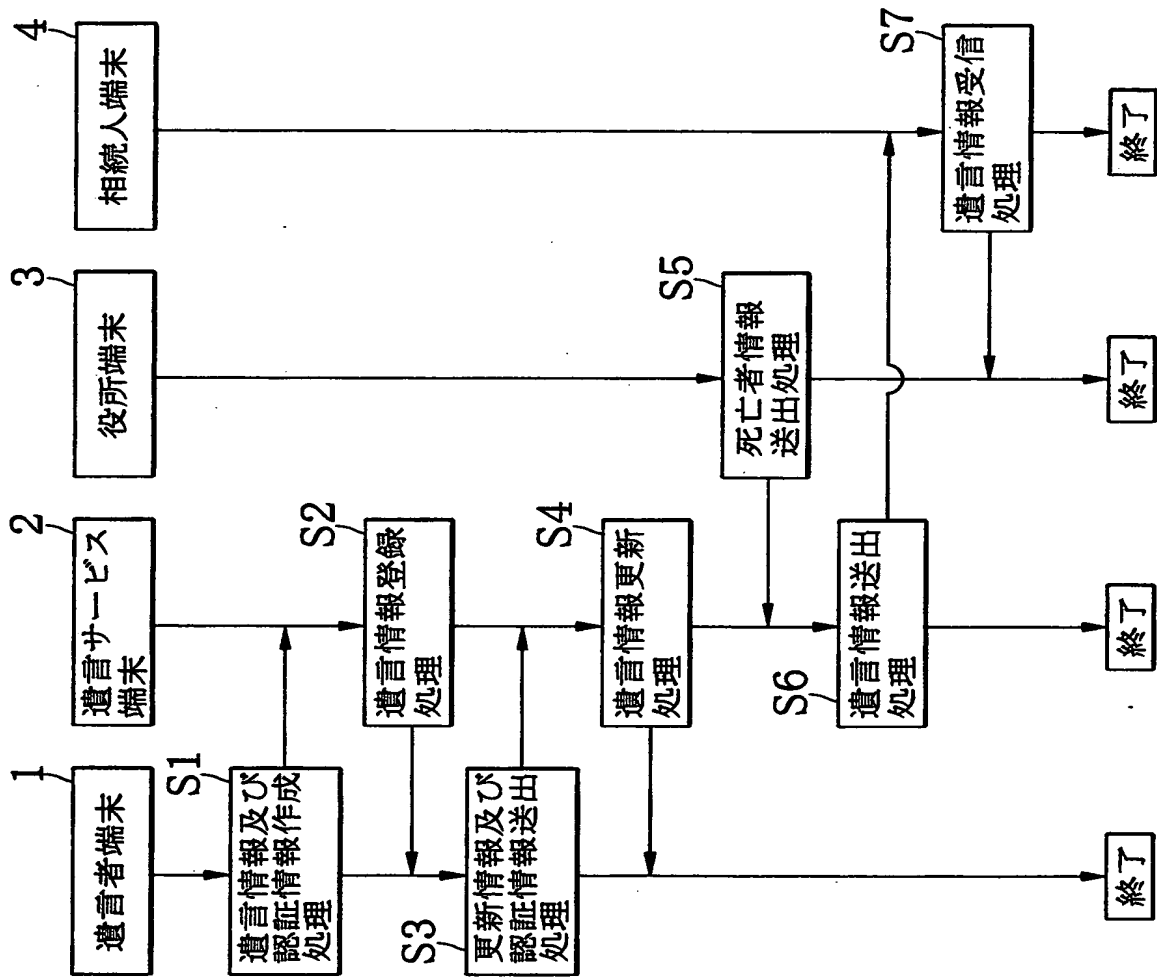
S 5	死亡者情報送出処理
S 6	遺言情報送出処理
S 7	遺言情報受信処理

【書類名】 図面

【図1】



【図2】



【書類名】 要約書

【要約】

【課題】 多くの人が生前に抵抗感なく遺言を作成でき、死後に相続人に確実に伝達される遺言サービス方法を提供する。

【解決手段】 遺言者端末 1 で遺言情報及び認証情報作成処理が行われる（ステップ S 1）。遺言サービス端末 2 で遺言情報登録処理が行われる（ステップ S 2）。遺言者端末 1 で更新情報及び認証情報送出处理が行われる（ステップ S 3）。遺言サービス端末 2 で遺言情報更新処理が行われる（ステップ S 4）。役所端末 3 で死亡届が受理されて死亡者情報 I 3 として記録されると共に、死亡者情報送出处理が行われる（ステップ S 5）。遺言サービス端末 2 で死亡者情報 I 3 が入力され、遺言者の死亡が確認されたとき、遺言情報送出处理が行われる（ステップ S 6）。相続人端末 4 で遺言情報受信処理が行われる（ステップ S 7）。

【選択図】 図 2

出 願 人 履 歴 情 報

識別番号 [000004237]

1. 変更年月日 1990年 8月29日

[変更理由] 新規登録

住 所 東京都港区芝五丁目7番1号

氏 名 日本電気株式会社